

イクター制の写本史料を求めて

佐藤 次高（東京大学大学院人文・社会系研究科）

私がはじめてアラビア語写本に接したのは、1970年、カイロの Dār al-Kutub al-Miṣrīya においてである。そこでは大学院の演習の一環として、Dr. S. A. al-‘Āshūr を中心に al-Maqrīzī の *Kitāb al-Sulūk* の写本の読み合わせがおこなわれていた。このグループに参加したことが、写本の重要性に目を開くきっかけであったように思う。もちろん日本では、写本にもとづく研究はまだおこなわれていない時代であった。

「12-14世紀のエジプト農村社会と農民」（『東洋文化研究所紀要』59, 1973年）では、いくつかのアラビア語写本を用いてイクター制下のエジプト農村を分析したが、そのとき用いた写本は al-Makhzūmī, *Minhāj fī ‘Ilm Kharāj Miṣr*; al-Nuwayrī, *Nihāyat al-Arab*; al-Idrīṣī, *Kitāb Nuzhat al-Muṣṭaq* に限られていた。しかし al-Nuwayrī の写本には、スルタン・ナースィル時代の検地について、刊本にはない豊富な記録が含まれていたのである。

この頃からイクター制にかんする写本史料の探索をはじめた私は、Ma‘had al-Makhtūtāt al-‘Arabīya, Dār al-Kutub al-Zāhirīya (後には Maktabat Asad), Süleymaniye Kütüphanesi, British Library, Bibliothèque Nationaleなどを訪れて、各種の写本を求める旅をつづけた。この間に収集した史料にもとづく研究をまとめたものが『中世イスラム国家とアラブ社会-イクター制の研究』(山川出版社、1986年)である。その後さらにシアトルのワシントン大学、バークレイのカリフォルニア大学、プリンストン大学、ハーバード大学、スレイマニエ図書館、アサド図書館、ダールル・クトブで刊本と写本の補遺をおこない、前記の書を増補・改訂して *State and Rural Society in Medieval Islam: Sultans, Muqta’s and Fallahun* (Leiden, 1997) にまとめた。

報告では、この間にえたアラビア語写本についての若干の知見とアラブ・イスラーム史研究における写本の意義について述べることにしたい。

1. 校訂本と写本には誤りがある

耳から聞いて書写したことによるスペル・ミス、シャクルの誤り、単語の欠落、校正ミス、写本の読みの誤り

Baybars al-Manṣūrī, *Kitāb al-Tuhfah al-Mulūkīyah al-Dawlat al-Turkīyah*
ed., ‘Abd al-Ḥamīd S Ḥamdān, Cairo, 1987

2. 校訂本には情報提供してくれる

715/1315年、エジプトを対象にしたナースィル検地の担当者
al-‘Aynī, *Iqd al-Jumān fī Ta’rīkh Ahl al-Zamān*, Istanbul, Süleymaniye Kütüphanesi, MS Hacı Beşir Aga 457

にマクリーズィー、ヌワイリーよりはるかに詳しい情報。32名のうち25名の人物を特定することが可能。これらの人物の経歴を調べることによって、人選の原則、この原則を打ち出した政府の意図などを明らかにすることができた。

“The Proposers and Supervisors of *al-Rawh al-Nāṣerī* in Mamluk Egypt,” *Mamluk Studies Review*, 2(1998), 73-92

3. 写本自体を見なければ確認できないことがある

「アミール・キトブガーへの覚え書き」の起案者

تاریخ ابن الفرات

كتب القاضي + ابو عبد الله محمد بن المكرم بن ابي الحسن بن احمد الانصاري
+写本には1あるいは2語の欠落がある。

ابن الحجر، الدرر الكامنة

القاضي ابو الفضل محمد بن مكرم بن علي بن احمد الانصاري

最初は、校訂者がAbū ‘Abd Allāhと補って読んだものと推定。しかし写本をみると全くの空白で他は校訂本の通り。→クンヤが異なる人物であり、100パーセント同一人物とは断定できない。al-Maqrīzī, *Kitāb al-Muqaffā*: Abū ‘Abd AllāhとAbū al-Fadlの二つのクンヤをもつ人物。